

1. 件名：「GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH 特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する事業者ヒアリング【7】」
2. 日時：令和5年4月14日 10時00分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

戸ヶ崎安全規制調整官、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官※

（核燃料施設審査部門）

甫出主任安全審査官

GNS Japan 株式会社：

最高技術責任者 他2名

原燃輸送株式会社：

設計・開発部 開発 Gr アシスタントマネージャー 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、GNS から対面でのヒアリング開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和3年10月6日第36回原子力規制委員会 配付資料1）を踏まえ、対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- ・資料1-1 補足説明資料16-2 第十六条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 臨界防止機能に関する説明資料
- ・資料1-2 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第十六条関連）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁の松野です。
0:00:06	それでは時間になりましたので、
0:00:09	座敷証明の基準適合性についてヒアリングを始めたいと。
0:00:13	本日は、臨界に係る基準適合性というところことで、
0:00:18	資料に沿って説明をお願い
0:00:29	GNSJapanの三枝です。
0:00:32	臨界に関しましてですが、
0:00:36	最初にコメント管理表は一応作ってるんですけども臨界に関する、
0:00:41	ものにつきましては、特段特別ご指摘なくて、
0:00:46	一般的なご注意がありまして、それについては本日説明の中で対応をお話しさせていただきたいと思います。
0:00:54	それでは説明モンマの方からさせていただきます。
0:00:58	はい。GNSJapanの門馬です。
0:01:02	今日
0:01:04	資料としては
0:01:07	ええ。
0:01:09	パワーポイントの資料。
0:01:12	と、あとは補足説明資料の16-2。
0:01:16	こちらの番号で言うとPR、
0:01:20	00006 っていう、
0:01:23	二つ。
0:01:26	臨界防止機能に関する説明資料、
0:01:29	説明をしていきたいと思います。
0:01:33	まずパワーポイントの方で概要を説明いたします。
0:01:38	表紙めくっていただいて、目次がありますけれども、
0:01:43	設置許可基準規則への適合性の概要、それから、
0:01:50	実際の適合性に関しての御説明が16条関係ですね。
0:01:55	という、
0:01:56	順番でいきます。
0:01:58	まためくっていただいたパワーポイントの3ページになりますけれども、
0:02:03	表がありまして、
0:02:05	前回まで遮へいのご説明していききましたけども、今回は第16条の臨界防止の部分。
0:02:14	についてということになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:17	4 ページ目から
0:02:19	様式で、
0:02:21	第 16 条の
0:02:24	規則への適合性のところをまとめております。
0:02:29	大丈夫ですか。
0:02:35	まず 4 ページ目の表のところですけども、
0:02:39	設置許可基準規則 16 条のうち、第 2 項第 1 号、
0:02:45	後は、
0:02:48	燃料体を臨界に関する恐れがないものとするということに対して、設計方針として、中性子実効増倍率が 0.95 未満だように設計するというのでこの辺は
0:02:59	先行例と同じになります。
0:03:02	それから、
0:03:06	規則の解釈別記 4 の、
0:03:11	16 条、
0:03:14	うん。
0:03:15	関係ですね。
0:03:17	こちらの方はまず第 1 号のところですけども、
0:03:22	技術的に想定されるいかなる場合にも、臨界を防止する設計であることということに関しまして、これは後でまた述べたいと思いますけども、
0:03:33	貯蔵施設における使用済み燃料集合体の搬入から搬出までの乾燥状態及び貯蔵中並びに使用済み燃料プールにおける燃料装荷及び取出し中の冠水状態を含む、
0:03:47	技術的に想定されるいかなる場合でも臨界を防止する設計とするということを設計方針としております。これも先行例と同じだと思う。
0:03:57	別に 5 ページ名の方に行きまして、
0:04:00	第 2 号関係ですね。
0:04:03	こちらの方は
0:04:07	金属キャスク内部のバスケットが臨界防止機能の一部を構成する場合には、
0:04:14	設計貯蔵期間を通じて、バスケットの構造、
0:04:18	健全性が保たれる設計であること。
0:04:22	これにつきましては、バスケット臨界防止の一部を構成してまして、
0:04:28	貯蔵、
0:04:29	期間中に、温度、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:31	放射線等の観光環境及びその環境下での腐食等の経年化に対して、
0:04:38	十分信頼性のある材料を選択し、
0:04:41	また要求される強度性能を維持することによって、
0:04:45	設計貯蔵期間を通して、
0:04:47	使用済み燃料集合体の幾何学的配置を維持するために必要な構造健全性を保つように設計します。
0:04:54	これについても先行例と同様の設計方針だと思います。
0:04:59	3号の方で2人35ですけども、
0:05:02	こちらの方は、
0:05:06	使用済み燃料、
0:05:07	貯蔵施設は、施設内におけるジノキヤスク相互の中性子干渉を考慮し、技術的に想定されるいかなる場合とも臨界防止体制が講じられていること。
0:05:18	そこに対して、
0:05:20	貯蔵施設内における金属キヤスク相互の中性子干渉を考慮するため、臨界防止の評価条件無限配列、
0:05:28	これについても先行例と同様かと思います。
0:05:31	次5ページ目、この諸表の後半から次のページの6ページ目まで、4号関係、
0:05:40	書いておりますけれども、
0:05:42	へえ。
0:05:43	マルチは配置、形状関係ですね。
0:05:47	こちらについては、
0:05:49	設計方針のところをちょっと見ていきますけれども、
0:05:53	中性子実効増倍率の最大になるようにバスケット内の使用済み燃料集合体内規を設定します。
0:06:00	バスケットについては製造上の公差を考慮して、寸法及び値を、
0:06:05	中性子実効増倍率が最大に設定します。
0:06:10	で、本キヤスクは、基礎等に固定する設計と1人活動はしません。
0:06:16	貯蔵中の地震津波、
0:06:19	竜巻発生時に助けている廣瀬燃料集合体の変形損傷することはありません。
0:06:26	次に6ページ目の方の四、五の続きですけども、
0:06:30	都丸に中性子吸収材の効果、
0:06:35	これにつきましては中性子吸収材中のほう素量については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:40	製造工程による品質が確保され、設計上の添加放射料は製造仕様の下限に設定します。
0:06:48	なお中性子吸収による中性子吸収材の原子個数密度の減少は無視し得る程度であり、考慮します。
0:06:56	はい。
0:06:58	考え方は先行例ということで、
0:07:01	丸栄、④、燃焼度クレジット、
0:07:05	これにつきましては、臨界解析では、使用済み燃料集合体は保守的に濃縮度上限の新燃料集合体として、燃焼度ペースは考慮しない。
0:07:16	てことにして、
0:07:17	で貯蔵する使用済み燃料集合体には、ガドリニウムを可燃性毒物として展開した燃料。
0:07:23	方が含まれてる場合がありますが、これについても、ドリーム存在を保守的にも示します
0:07:32	ということでバーナブルポイズン、
0:07:36	バーナブルポイズン集合体を返還する。
0:07:38	今回解析では考慮し、
0:07:41	第 5 号につきましては
0:07:44	本申請の範囲外と思います。
0:07:49	次のページいきまして、
0:07:51	7 ページ目ですね。
0:07:55	こちらの方は解釈のもの別記 4、第 16 条第 5 項、
0:08:01	設計貯蔵期間を明確するようにしていることということで、
0:08:06	60 年設計書装置が 60 年とし、
0:08:10	設計貯蔵期間中の温度、放射線等の環境条件下での経年変化を考慮した材料日構想であります。
0:08:19	につきまして本キャスクを構成する部材は設計貯蔵期間中の温度放射線等の環境条件に対して、
0:08:26	またその環境条件下での腐食、クリープ、応力腐食割れ等の経年化に対し信頼性の材料を選定し、
0:08:34	その必要な強度及び性能を確保することで、使用済み燃料の健全性を確保する設計として、
0:08:42	一応表形式でちょっとまとめた設計方針のところになり、
0:08:46	次 8 ページ目からが、
0:08:50	実際に第 16 条への行政として、臨界防止機能の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:57	設計方針を具体的にどうするかという説明。
0:09:03	8 ページ目の右側にバスケット関係の発言が、
0:09:07	ありますけども、ちょっと小さいんで
0:09:10	ここんところあるけど、補足説明資料で言いますと、
0:09:14	PRの
0:09:16	00006 も、
0:09:19	7 ページ。
0:09:20	同じもの。
0:09:24	石油方針としまして、
0:09:28	使用済み燃料の未臨界性を維持するために、2 枚のステンレス項番、
0:09:36	以下フランジというステンレス構成のWeb
0:09:41	出るというもの。
0:09:42	で構成された、一型。
0:09:46	工場のステンレス製の構造材。
0:09:50	これはHビームと呼びますで区切られた格子構造であるバスケットの所定の位置にショウジュnew収納することで基本的開示を移し、
0:10:01	またHビームを中性子吸収材である放送転換アンリユウ版では 3 工場とすることにより臨界防止を設計する、します。
0:10:11	この辺は以前もちょっと概要を説明してるところなので、
0:10:18	改めてここに限って、
0:10:20	バスケットには設計貯蔵期間中に、温度放射線との環境ISOの環境下での腐食等の経年変化に対して、
0:10:28	十分信頼性のある材料を選択し、
0:10:31	また必要とされる強度及び性能維持することによって、
0:10:35	設計貯蔵期間を通して収入集合体の企画配置を行き来するために必要な構造牽制を、健全性を保つよう設計し、
0:10:44	貯蔵施設における使用済み燃料集合と搬入バランスまでの乾燥状態貯蔵中並びに使用済み燃料プールにおける燃料装荷取出し中の、
0:10:54	冠水状態を含む実績に想定されるいかなる場合でも、中性子実効増倍率が 0.95 未満であるように設計します。
0:11:05	で、安全評価をシバの
0:11:08	審査会合の確認内容のところでご説明いたします。
0:11:12	設計の妥当性につきましては、本設計の妥当性を確認するために、臨界解析を実施して、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:21	中性子実効増倍率が乾燥状態と冠水状態の両方で参集を考慮した上で、
0:11:28	基準値 0.95 未満であることを確認して、
0:11:33	原子炉設置変更許可申請時の確認事項としましては、
0:11:38	また、標準燃料金属に収納するにあたっての規制については別途確認を受け、
0:11:46	次のページ 9 ページになりますが、
0:11:49	こちらの方は審査ガイド、
0:11:52	の確認内容に対する設計方針を表形式でまとめて、
0:12:00	一番配置形状のところですけども、
0:12:04	中性子実効増倍率が最大になるように、パスペットのひずみ仕事の位置を設定します。
0:12:11	バスケットについてここ、
0:12:13	同じような説明、制度製造上の講座を、
0:12:15	考慮して、寸法inchを修正し構造材率が最大となるように設定します。
0:12:22	本キャスクは基礎等に固定する設定しており、活動費、
0:12:29	こちらの方もあれです。
0:12:32	先行例と同様な設計方針かと。
0:12:36	中性子吸収材の効果につきましては、
0:12:40	中性子吸収材の包装量については製造工程により近世確保され、設計上の添加放出量は製造資本下限に設定します。
0:12:52	中性子吸収による中性子吸収材の原子個数密度の減少を見据えているので、考慮します。
0:13:00	この考え方は先行例と。
0:13:04	3 番、減速材、水の影響。
0:13:08	乾燥状態での解析に加え、使用済み燃料を収納する際の冠水状態を考慮した解析を、
0:13:16	行います。
0:13:18	中性子構造は伊佐最大化水密度 1.0 を持ち、
0:13:24	また、基本的な浸水状態も評価します。
0:13:29	水平種上皮水平姿勢における浸水は、取り扱うべき所蔵中には想定されないけれども、これもついても評価を、
0:13:39	4 番目、
0:13:43	検証された臨界解析コードデータライブラリの関係ですけども、こちらの方は解析コードとしてSCALEコードシステムを用いまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:53	臨界解析コードとして和気のVI、
0:13:57	を持ち、
0:13:58	その大面、
0:14:00	断面セキライブラリとした、ENDFのBのオノ. 1 の 152 ぐらいでやるように決め
0:14:08	て小判。
0:14:10	へえ。
0:14:12	設計上、
0:14:14	発生塑性変形が想定される場合は、線形考慮した、
0:14:21	兵頭高齢者盛り返しされること。
0:14:25	こちらの貯蔵中の地震津波、竜巻発生時にバスケット及び使用済燃料集合体に変形損傷することになる。
0:14:33	豊崎ハヤシ。
0:14:35	こちらも先行。
0:14:36	どうということ。
0:14:40	具体的に 10 ページ目からですね。
0:14:47	まず、
0:14:49	臨界防止機能の
0:14:52	機能に係る安全評価の方針としては具体的に、以下の通りになります ということで、
0:14:58	まず左側下の方に臨界解析条件の概要ということで、収納物費用、それから解析条件の表を、
0:15:08	記載しております。
0:15:10	それから右側の表には臨界解析における燃料集合体の使用というのはもうまとめており、
0:15:21	限界解析では収納物について以下の保守的な条件は載せて、
0:15:26	しております。
0:15:28	丸いくつか 26、七つ書いてありますけれども、
0:15:33	まず、
0:15:35	使用済み燃料集合体は、濃縮度上限の新燃料とする、燃焼度クレジットは考慮しない。
0:15:41	二つ目、ガドリニウム等の可燃性毒物は考慮しない。
0:15:46	三つ目、バーナブルポイズン集合体は考慮しない。
0:15:51	四つめほう素水は考慮しない。
0:15:54	ツツミ冠水費は、燃料がすべて浸水している過程とする。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:59	底部っすね。
0:16:00	燃料組成に同位体、裏に三、四、
0:16:04	及びU236 は考慮しない。
0:16:08	さらにですね、収納物を含む寸法条件は感度解析エリアの設定。
0:16:13	きます。
0:16:17	次が 11 ページ目。
0:16:21	なります。
0:16:24	10、
0:16:25	11 ページ目の図はですね、
0:16:30	実際の臨界解析のモデル関係の図を示しております。
0:16:35	まず左側の 15×10 行の燃料それから 17 から 17 燃料の
0:16:44	燃料領域の横断面図のモデルの
0:16:49	それから真ん中側のキャスクの横断面図の臨界解説。
0:16:57	て右側の
0:16:59	キャスクの縦断面図の臨界解析
0:17:06	臨界解析では
0:17:09	キャス達、一応 26JP型と使用済み用集合体のDIS形状。
0:17:16	3次元でモデル化します。
0:17:18	解析コードってのは先ほどと繰り返しになりますので省略しますが、 SCALEコードシステム
0:17:25	を使って臨界解析コイケのフィックスを、
0:17:31	別に 12 ページ目ですけども、
0:17:36	臨界解析条件ということでまとめております。
0:17:42	解析、乾燥状態での解析に加え、使用済み燃料を収納する際の冠水状態を考慮した解析を行います。
0:17:55	なお部分的な進数状態。
0:17:57	水平性における申請についての評価を、
0:18:01	臨界解析用の境界条件は、
0:18:06	安達に一応 26JP型のすべての取り扱い工程における中性子実効増倍率報告包絡するものとして、
0:18:14	冠水条件での中性子吸収人口増倍率の感度解析の結果を踏まえて設定します。
0:18:21	乾燥状態では水の代わりに真空中でモデル化することにより、同じ規格、幾何形状のモデルを持ち、
0:18:30	冠水状態と同様の感度解析を実施しており、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:35	その他の臨界解析条件として下の表にまとめております。
0:18:39	へえ。
0:18:40	収納、燃料体数、三島条件、
0:18:47	寸法条件水ギャップステンレス項番 70 鮮度及び中性子吸収材最小厚さとする。
0:18:54	熱伝導率中性子吸収材の配置は、熱による中性子吸収蒸気燃料間は、最大の距離とします。
0:19:02	タスク内部噴気。
0:19:04	乾燥状態新規冠水状態は水、
0:19:08	よろしく申し上げます。
0:19:10	キャスク外部に出しに行くキャスク境界条件分限廃率感染背斜。
0:19:16	燃料集合体構造物として乾燥状態で真空完成状態です。
0:19:22	ほう素含有量は、
0:19:26	最低保証中、
0:19:28	ですね、製造上の最低保証値ということでボロンテンは齋木保証して設定します。
0:19:35	修正者経済、
0:19:38	これは吸収キャスク本体の中性子遮へい材を、キャスク導体の木材数、
0:19:45	90 億円 9.72 案。
0:19:47	変更して、
0:19:49	うん。
0:19:51	2 人分程度の中性子遮へい材は考慮します。
0:19:56	二つ。
0:19:58	一時豚新田を考慮します。
0:20:01	搬出時とかに用いる 30 物については考慮します。
0:20:09	次 13 ページ目の表ですけども、
0:20:12	こちらの方は
0:20:16	感度解析カトウに基づいて設定している委員会解析における寸法条件をまとめているもの。
0:20:25	へえ。
0:20:26	バスケットコースないのを、
0:20:30	モリ寸法、これ最大、
0:20:34	にしています水ギャップ厚さ、これは最小値、
0:20:39	ステンレス交番、HBブランチの厚さ湖西表。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:43	値にして、
0:20:44	熱伝導及び中性修正材の厚さ最小。
0:20:49	バスケット側板の
0:20:51	交渉中店。
0:20:54	水学級の駅ビームのWeb厚さは最大。
0:20:59	こちらの方設定根拠はもう、感度解析。
0:21:04	というのは、水ギャップの効果を最少コモリに設定
0:21:09	燃料ペレット形、燃料硬直は交渉チーム、
0:21:14	これは
0:21:19	被覆管外径、被覆管厚さ、
0:21:23	基本の方は感度解析。
0:21:25	最初、
0:21:29	制御棒案内管の内径は最大、
0:21:33	それ。
0:21:34	線量制御棒案内管の会計再表記
0:21:43	これは被覆管の会計及び朝で判断して、
0:21:48	見せ、
0:21:50	燃料集合体の地区方向へん、
0:21:54	交渉の状況、
0:21:58	燃料集合体の径方向編の無効票。
0:22:05	でこちらの感度解析の結果に基づいて設定。
0:22:09	小さく万Hセグメントの熱田小交渉中。
0:22:14	に設定してます感度解析に基づいて、
0:22:24	すいません。
0:22:26	駅セグメントのマツザキの主コーナーエレメント。
0:22:32	の厚さ、すいません。
0:22:37	水ギャップ中のバスケットクローズ、
0:22:41	こちらの方は水ギャップ中の水の減少を考慮して、感度解析結果に基づいて設定。
0:22:48	キャスクキャビティの塩基孔口の部分浸水の冠水上、
0:22:53	キャスクキャビティの末岡の部分浸水最上段は浸水しない状況
0:22:59	を設定し、
0:23:01	キャスク本体中の修正遮へい材と利益が、
0:23:05	この給食研究設備に置き換える。
0:23:08	以上感度解析に基づいて設定して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:13	キャスク底部及び蓋部の中性子遮へい材、
0:23:17	キャスク程度は 90 億円鋳鉄二葉ステンレスに、
0:23:22	久我燃料有効長カトウために影響は小さいはありません。
0:23:30	以上が臨界解析における寸法条件。
0:23:36	14 ページ目に実際の解析の結果をまとめております。
0:23:44	まずH4 ページ目の上の段の方ですけども、臨界防止機能の安全評価に係る解析行動及び検証。
0:23:53	こちらの方はキャス達一応 26JP型の臨界解析には、
0:24:00	米国の立地オークリッジ研国立研究所、RLで破壊された公開のSCAL Eコードシステム。
0:24:08	内、
0:24:09	SCALE6.2、高度の 3 次元モンテカルロプログラムの家のVIを使用しました。
0:24:17	また、中性子増倍率の計算には、ENDFの頻度 7.9。
0:24:23	に基づく 252 年、旧西彼断面セキについて計算。
0:24:29	SCALEコードシステムの検証では、ベンチマーク用臨界実験との解析、
0:24:35	この比較をしています。
0:24:38	具体的には
0:24:40	閉、
0:24:41	ベンチマーク用臨界実験、
0:24:45	参考文献でもちょっと引用しておりますけども、インターナショナルハンドブック威張りEduクリティカリティSafetyベンチマークスペリーなんです。
0:24:54	ICSB。
0:24:56	これから有して、
0:24:58	SCALEコードパッケージに含まれる、
0:25:02	感度解析の二つ。
0:25:04	ミナミぱんとかいう 2 人近さ解析ツールを用いて、
0:25:09	臨界実験と臨界解析モデルとの相関関数との比較を行って、
0:25:16	次の表にまとめの数値を変え、結果のまとめを書いておまして、
0:25:22	急性スティック構造がいざ冠水状態で、Q5×10-0 年行が、0.9751、
0:25:32	3 週間が 0.00163。
0:25:36	それから 17 月 17 燃料が 0.933、123 Σ がA. 0.000。
0:25:46	それから乾燥状態で、15 ページ、25 燃料、0.3881。
0:25:53	参集マンが 0.0013 人。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:56	17 ページ、17 燃料が 0.39403。
0:26:01	A3σ、
0:26:02	0.000、
0:26:05	35
0:26:06	いずれにしても評価基準の 0.95 よりも
0:26:11	小さい。
0:26:12	ということで、未臨界を維持できるというふうに評価、
0:26:22	臨界解析の結果、3σを考慮した上で基準値 0.95 未満となっております、
0:26:32	基本設計の妥当性を確認しております。
0:26:37	これによって、第 16 条の燃料体等の取り扱い設備貯蔵施設の臨界防止についての、
0:26:45	規定に適合していると考えております。
0:26:51	はい。説明以上になります。
0:26:56	規制庁松野です。では質疑のほうに移らせていただきますけども、
0:27:02	私の方からいくつか記載の確認事実確認をしたいんですけども、
0:27:07	順番にいきますと、
0:27:09	8 ページ目の、
0:27:13	設計方針、
0:27:15	ところで、
0:27:18	一番最後に、設置許可の、確認事項があるんですけども、ここで、
0:27:24	使用済み燃料を金属キャスクに収納するにあたっての必要な措置については別途確認を受けると、あるんですけども、
0:27:33	ここは、必要な措置については別途確認を受けるといって何か具体的に何を確認を受ける。
0:27:39	いうこと。
0:27:40	なるんでしょう。
0:28:21	すいません。
0:29:04	原燃輸送のところですけども、こちらちょっと一般的に取り扱いの方法というのが、この型式証明で確認を受けるということではなくて、確かに古藤臨界防止だけという、
0:29:17	あまりこの配置Ⅱがどうこうという話はないわけですけどもいわゆる、
0:29:23	ワード資料の細胞には取り扱いの工程とか記載しておりますけれども、基本的には取り扱いがの措置というのは、型式証明ではなくて、設置許可のほうで確認を受けたいというような形で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:37	記載ちょっと一般論ですけど記載させていただいていた。
0:29:43	規制庁の松野です。
0:29:46	今回いろいろ臨界評価その解析条件でいろいろ
0:29:56	保守的に評価をされて、中でもいろいろ制約条件が多分あるかと思うんですけど、その制約条件が、今後、
0:30:07	電力事業者の設置許可で審査する際に、具体的にその制約条件を逸脱しないように、
0:30:16	多分、必要な措置は多分講じられないといけないと思うんですけど、じゃあ具体的にその
0:30:21	制約条件範囲を逸脱しないような必要な措置っていうところを、ある程度この証明の段階で明確にしないといけないと思うんですけども。
0:30:30	それは具体的に何になるんでしょうか。
0:31:27	すいません規制庁のところだけです。だからこの5号の要求事項に対して、補足説明の7を7ページのなお書きでご説明をしていますので、
0:31:39	そこのところ詳細に、
0:31:41	基準適合性の観点で、
0:31:44	説明が必要だと思うんですけど。
0:31:47	だから要は設定、収納物の条件とかを設定してるわけですよね。
0:31:54	それをちゃんと
0:31:56	施設側でも守ってもらわないといけないわけですよね。
0:32:02	だから、何かそれを守らせるっていう、守ってくださいという条件をつけるんじゃないですか。
0:32:11	そうですね。
0:32:14	それぞれ。
0:32:18	J-シバのサエグサSと多分おっしゃってることは、燃料を装荷するにあたって総括燃料のレイシヨウ度とか、そういうものを前提にこの
0:32:29	臨界解析を行ってますので、それを逸脱しないようにということですか。
0:32:39	問われてるのはそういう、
0:32:41	年輪解析で前提としている条件。
0:32:46	実際の燃料装荷にあたって、
0:32:48	エドガーで
0:32:50	逸脱しないようにというようなこと。
0:32:53	だと思えばそれを明確にしてくださいと。
0:32:56	いご質問でよろしいですか。
0:32:58	だな。ですから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:01	順番が多分あると思うんですけど、
0:33:04	この気安く浦田式照明で収納物の上場建機決めますよね。
0:33:11	その条件を、
0:33:13	ちゃんとツガネも守ってもらわないといけないわけですよ。
0:33:16	あそこの順番を書くんじゃない。経緯を書くんじゃないんですかね
0:33:22	説明するんじゃないですかね。
0:33:25	だから徐々、すいません。はい。
0:33:31	すいません今多分トガサキ田井常務の補足説明資料の3ページと4ページ、4ページの一番上の
0:33:43	GNSが記載し、記載とこれあれですよ。ね。要求事項のところの第5号貯蔵事業許可基準規則解釈第三条の
0:33:54	ところのよ、4ページの一番上の午後、使用済み燃料を金属キャスクに収納するにあたっては後で、臨界評価で考慮した因子についての条件または範囲を逸脱しないよ。
0:34:09	よう必要な措置が講じられることであるのでそのことをおっしゃってますよね。多分松野さんもそう、そういうような機会。範囲とか条件っていうのをそこに詳しく書く必要はないけどそういう。
0:34:23	江藤。要求事項を、は、
0:34:27	守るよというか適合させるよっていうふうなことを書かないといけないんじゃないかっていう。
0:34:34	ふうな質問だと思うんですけど。
0:34:38	内容が多分何も書いてないので、
0:34:42	どう適合させるんだよ。
0:34:45	ていうことだと思うんですけど。
0:34:48	これ先行例だとちゃんと
0:34:50	要求事項に、
0:34:53	何て言うかは、半数というか、
0:34:57	してるんですけどそこはどうなんですかね。
0:35:24	規制庁の総括ですけど、だからこの型式証明の範囲は、収納物の条件を決めて、それを施設側に申し送りますと、実際に施設側でやるかどうかは設置許可の時に確認します。
0:35:38	段階があると思うですよ。
0:35:43	はい、GNSJapanの三枝です。施設側への申し送り事項。
0:35:48	いうのは確か、
0:35:50	別途、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:52	資料で、
0:35:53	まとめて作って、
0:35:56	シーン、
0:35:57	差を受けるようにしてるんだと思うんですけど。
0:36:02	確か先行例でそんなような資料を見たような気がします。
0:36:06	そうですね。規制庁の戸松ですちょっとそこら辺の説明がないとさっきマツノが最初に言ったように、何かその収納、ここに書いてある、その収納条件以外にも、
0:36:19	何かいろいろ
0:36:21	施設側の方で、その確認しなければいけないようなものがあって、それについては、今回はその設定しないで、
0:36:32	施設側の方で確認をするというものが、あるんじゃないかっていうですね、そういうふうにとちょっと懸念が出てしまうので、
0:36:42	多分そういうことではなくて、収納条件については全部この型式証明のところで設定して、それはちゃんと施設側にも申し送って、
0:36:54	施設側で主、
0:36:56	いう形勝負で決まった条件に従って、ちゃんと措置がとられてるかっていうのを、設置許可の方の、
0:37:07	審査の方で確認するっていう、そういう流れになると思うので、そこら辺、もしそうであればそれをちゃんと説明してもらった方がいいんじゃないかっていうことだと思いますんで、
0:37:18	条件は別のところで説明するっていうんだったらそこを引っ張ってもいい、いいんですけど。
0:37:23	要はここで言ってるのはこの中の何を許可で確認するかっていう範囲ですね。
0:37:29	範囲が明確じゃないので、そこら辺のちゃんと説明を、
0:37:33	してもらった方がいいんじゃないかということだと思います。
0:37:39	はい。JNESジャパンのサービスです。ご指摘されていることは理解してるつもり理解しました。
0:37:47	ちょっともう1回持ち帰って確認しますが確かあの申請書そのものに、
0:37:54	施設側で確認すべき事項っていうのをちゃんとまとめた。
0:37:58	ような気がするんですけど、ちょっとすいません、今、
0:38:01	手元に持ってないので、
0:38:04	とにかくおっしゃられてることがわかりますので、この段階で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:08	施設側に確認して欲しい事項というのを、
0:38:12	まとめておいて、説明できるようにします。
0:38:18	規制庁の高瀬ユフ後ですねこの補足の7ページのこのなお書きが、
0:38:24	ちょっとこの、何か途中で終わってるのか、
0:38:29	これはちょっと、
0:38:31	括弧書きが閉じてないので、
0:38:36	どうなんか、文章が途中で終わってるんですかねこの。
0:38:42	申請の範囲外。
0:38:46	外、学校、
0:38:49	当時がないんですね
0:39:53	すみません、JNESジャパンの門馬ですけど補足説明資料の7ページ。
0:39:59	あれですね
0:40:00	上から、
0:40:03	6行目ぐらいのところですよ。
0:40:05	わかりました。すみません。ここはそうっすね。
0:40:11	後ろの綴じ括弧が抜けちゃってます。申し訳ないです。
0:40:21	そうですね。
0:40:32	条件は、不詳型式証明側で決めるんですけどその条件をし引き継いで、施設がね、確認することになりますけどそちらの方は、申請範囲外っていうですね。
0:40:48	段階があると思うんですね
0:40:55	発見輸送の方です。長期しました先行D、MSF
0:41:03	で言えば臨界評価で工事した因子についての条件まだ範囲を逸脱しないように必要な措置ということで、
0:41:11	ちょっと先行Dを参考にさせていただきながらCAQとしてあとはもうこの因子とか、そういうものが何かというのは別途ご説明させていただきたいと。
0:41:21	基本的には放送料とか初期濃縮度ということになるかと思えますけどこちらきちんとまた別途説明させていただき
0:41:38	規制庁松江です。続いて、
0:41:42	パワーポ資料の、
0:41:45	10ページ目。
0:41:48	ここでは、収納物仕様と解析条件があるんですけども、
0:41:55	解析条件で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:58	保守的な条件設定するということで、
0:42:02	ポツがたくさんあるんですけど、
0:42:05	そのポツの中でも、ガドリーの可燃性毒物は考慮しない。
0:42:11	バーナブルポイズン集合体考慮しないほう素水は考慮しない。
0:42:16	ちょっと一つ飛んで、燃料組成にどういった
0:42:20	浦新居さん、4と23とか考慮しない。
0:42:23	これそれぞれちょっと考慮しない理由をちょっと説明お願いできますか。
0:42:33	オチアイジャパンの門馬です。
0:42:35	基本的にあれですね。
0:42:40	中性子実効増倍係数が、考慮した場合は
0:42:46	小さく、
0:42:48	なるので、そうならないように考慮しないっていうことにしてますっていう。
0:42:54	と書いてます。
0:43:11	中性子実効増倍率が、
0:43:16	もうちょっと説明いいですか。
0:43:22	原燃輸送の方ですけども、キャスクのこの臨界評価で基本的に使用済み燃料であれば当然反応度が下がって、中性子実効増倍率が低くなると、そういう時にガドリを無視して中性子
0:43:34	基準を減らす、あとは診療過程にしてということ、あと、そのウランの反応度の高いものを使う。
0:43:43	で、あとは馬場南雲神中央大学は入っていれば当然またそれ、反応度下がってしまうので、
0:43:51	基本的にはすべてもうとにかいかなる場合も臨界とならないということ
0:43:57	一番実効増倍率が高くなるという条件として、一般的で、ちょっと他社もしかしたら無視するとか、何か保守的に物質とかいう書き方をしてるかもしれないけどもちょっとそこでちょっと引っかけた
0:44:11	生まれてしまったかもしれないのでちょっとそこら辺の表現は、
0:44:15	あれですけどもこちらは基本的には
0:44:19	もう何ていうか、一般的な話で、保守的に無視して無視するというか保守的に新城家庭で浦 2005、
0:44:30	形にしていると、ということです。
0:44:39	6 ページの方にはそういうふうに書いてありますね 6 ページを見ると、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:44	がドリーの存在を保守的に無視するって書いてあるんで、その保守的に無視するって言ってもらえればな、何か保守的に考慮してしてる。その上に保守的な条件を設定するって書いてあるからわかることはわかるんですけど、
0:44:59	ちょうど
0:45:01	その二つの話はわかるんですけど、ほう素対は考慮しないというのは、あれですか、貯蔵中は、ホウスイとは入ってるんですがそのプールで、
0:45:14	これは何でほう素水が出てくるのかわかんなかったんですけど、
0:45:20	原燃輸送の行ですけどもプールにどぼんとつけて、そこに凹凸があったとしても、そこは包装はないものとしている、いわゆる冠水状態の評価ですね、もちろん貯蔵中は乾燥。
0:45:34	真空管曾田スタートヘリウム充填ですので、水がないわけですけども、いわゆる、
0:45:39	プールのプールデッド本。
0:45:53	規制庁の方ですけどもほう素水とかいう話じゃなくて、考慮、冠水条件を考慮する場合は、そこは純粹であるとするとかね、ということだと思っ うんですよ、多分。
0:46:05	あんまり。
0:46:08	当然ここではちょっと違いますけども、BWRだったらね、特に確かプールにね、
0:46:15	放射線のホウ酸水ですけども、は入ってないですよ。だから、要はその辺でPWRこういうような話だと思うんで、評価の前提というか、
0:46:27	水間冠水状態であると宣言している上で、実は純粹であるということ でいいんじゃないですかね。
0:46:38	現にそこはです。承知しました表現の問題としてですね、冠水状態では、純水で水と1.0という毎時、非常に保守的な条件を用いてというのが、
0:46:50	ちょっとわかりやすくですね資料の資料上そのような書き方とさせていただきます。 た だ き た い と 思 い ま す。
0:46:56	はい、わかりました。あとあれですね同位体は考慮しないの話なんです けど、これら 235 と、プルトニウム、
0:47:07	239 は核分裂スルーしますよね。
0:47:11	この 234236 は何で考慮しないんですか。
0:47:19	起案者間のモリサノ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:21	実際にはU234とか236っていうのが実際の燃料には多少伴い含まれてると思うんですけども、
0:47:30	これもやっぱりあれですね核分裂数しにくい食う崇敬の
0:47:36	プランはもう
0:47:37	確認しにくいので、
0:47:39	これは考慮しない方が保守的に評価できる。
0:47:48	そういう設定をします。
0:47:53	吸収材としてはあれですか、これもう、
0:47:57	吸収する機能を保守的に考慮しないってことですか。
0:48:01	そういう意味ではそうですね。抽選日は休日だけで吸収しても核熱はしないっていう
0:48:09	核分裂は全然しないんですけどつな。
0:48:13	低いって言った方がいいんですけど、ただその辺がちょっとしにくいというのが少しではそするけど、吸収効果を、
0:48:24	無視した方が保守的になるんだ、なるのかですね。
0:48:28	そこら辺ちょっとちょっと説明してもらいたいんです。
0:48:33	もう全く分別収集に長くて吸収の効果しかないからその吸収の効果は保守的に無視するっていうんだったら、そういう説明でもいいのかもしれないんですけど。
0:48:45	ちょっと分列7日間関係も、ちょっと説明してもらいたいんですけど。
0:48:52	これもは表現のちょっと仕方があまり適切じゃなかったってことかもしれないので次回の改定の時はもう、
0:48:58	見直します。
0:49:07	あ、すみません、10ページで、
0:49:11	追加で、
0:49:13	濃縮度とかマスキングされてるんですけど、これ多分出せると言うんですよね。バーナブルポイズンは最高燃焼度と冷却期間はスキームできるとして、
0:49:31	これ濃縮だと、初期濃縮だと最高燃焼度って隠してるのって何か理由あるんですかね。
0:49:40	確か他社だと出してたような気がしてこれ丸々、
0:49:45	マスキングは書かないと思うんですよね。
0:49:48	同じように、隣の、
0:49:50	燃料集合体の使用、
0:49:53	もうザー世とかザ燃料材質とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:57	被覆管の材質も多分高性って、
0:50:00	CORA閉んも出せる出せない、全部がマル、マスキングされちゃってるので、
0:50:08	出せる部分もちょっと検討してください。
0:50:12	JNESはモンマです。すいませんはい。
0:50:16	ちょっとこの辺ちょっと確信再確認しまして、公開的には公開するようにします。
0:50:24	はい。お願いします。
0:50:28	すいません。10 ページの資料、
0:50:34	衛藤。
0:50:36	書記濃縮つととかの、
0:50:40	あれなんかこう、
0:50:42	ゆ融度みたいなのを考慮してるんですけど、確か歩。
0:50:55	ウランの濃縮度って確か、何か下幻想してとか何とか、
0:51:01	そういうので、何%ぐらいこう融度見てとかそういう話は補足と書いたしか、GNSさんはなくて、
0:51:11	これはもう、
0:51:14	そのままの値なんですかね。
0:51:18	すきかかかってるんであんまりあれですけど、
0:51:24	また値として多分そんなに他社と変わらないので、そんなおかしくないんですけど、説明としてちょっと足りないかなあと思うんですけど。
0:51:49	こんちはJapan棒間です。
0:51:53	それもちょうとあれですね他社の資料をちょっと確認して、
0:51:59	はい。
0:52:00	対応したいと思います。
0:52:05	はい。お願いします多分その濃縮度とか収納制限に対してその解析条件をどう保守的にとっているかとかそういうノーでかけると思うので、
0:52:15	赤、抗力は考慮していると思うので、お願いします。
0:52:20	私からは以上です。
0:52:24	はい。今は別に、
0:52:28	パワーポ
0:52:29	ここに書けとかじゃなくて補足の説明に入れてもらえばいいと思います、はい。
0:52:39	規制庁松野です。では私の方がまた追加で確認したいんですけども、
0:52:44	これ同じパワプロその 10 ページ目で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:47	臨界解析条件、それぞれ、これ 1055 と 1077。
0:52:52	それぞれ解析して、
0:52:55	結果を示されてますけども、
0:52:59	申請書のほうを見ると、
0:53:03	今 1000 申請書をお持ちですか。
0:53:19	はい。はい、持ってます。そのベ添付-1 の 56 ページ目に、
0:53:29	(2)で、臨界解析解析の項目があつて、
0:53:33	その 2 段落目に、
0:53:37	これ代表性の話が書かれてるんですけど、
0:53:47	ここで書かれている。
0:53:51	ちょっと、
0:53:52	意味合いというか、
0:53:55	実際のその解析とここのその申請書に書かれているその記載とか、
0:54:11	はい。
0:54:14	切れないJapanモンマです。
0:54:16	申請書の 1-56 ページ目に書いてある、代表として、何てあれですね、このタイプの
0:54:26	シネを用いますっていう、
0:54:28	ところは、
0:54:32	実際今回のパワーポイントの資料の 14 ページ目に、
0:54:38	15ヶ月 10年、15燃料と 17ヶ月 17燃料の、結果をお示してますけれども、いずれも 17か 17燃料の方が、
0:54:52	中性子実効増倍率が大きいということでジンノナカノて中の燃料の方代表として、
0:54:58	申請書側には書いてますっていう
0:55:10	解析は両方であつて、
0:55:15	結果は、
0:55:16	申請書上は、
0:55:20	どちらかの燃料の結果しか書いてないけど、今回の説明パワポ資料と補足では、両方書いてるっていうことでの理解でいいです。
0:55:32	はい。
0:55:33	そうです。はい。
0:55:39	わかりました。
0:57:45	よろしいですか。GSジャパンの三枝ですけど、今のパワーポイントの小表現と、それからさらにこの補足説明資料の表現では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:55	おっしゃるように 1055 も 1077 も両方改正結果お示ししていて、いわばこれは補足説明資料ですが、その結果経営チェックという値は、
0:58:06	1077 が大きく、これで代表させることで、
0:58:09	という表明を、
0:58:11	表現を申請書の方では、結果をとって説明しているということです。補足はさらに 1055 も示すことで、その妥当性をさらに説明していると。
0:58:21	いう考えです。
0:58:26	それも先行と同じような、
0:58:28	それともあれでしたっけ、先行両方とも多分書いてたと思うんですけど。
0:58:35	次エン・ジャパン山陰線先行例についてはちょっと今手元にないので、また確認させていただきましても、それは先行例と同じように合わせたほうがよろしいという。
0:58:47	ことでしょうか。
0:58:50	そこはまた別途、書面審査の時に、
0:58:54	補正に関わる話であればそこは書面で、
0:58:59	確認したいと思いますので、今はちょっと事実関係ということで、そうですね、はい、了解しました。
0:59:06	こちらも確認させていただきます。
0:59:17	続いて、
0:59:19	規制庁の松野ですけども。
0:59:24	13 ページ目に、
0:59:27	先方条件があって、これの設定根拠はその感度解析結果に基づいて設定と。
0:59:35	です。項目によって、最大になったり最小になったり、
0:59:40	公称値を用いたり、
0:59:43	それぞれ小例を条件として設定した。
0:59:49	適切性がすべて感度情勢感度解析結果になるものになりますので、
0:59:55	先ほどの説明だと、
0:59:57	特に感度解析の内容についてちょっと説明がなかったので、ちょっと感度解析の説明をお願いしますか。
1:00:07	はい。DNSジャパンの門馬です。
1:00:10	感度解析キーの内容はですね補足説明資料、
1:00:18	臨界防止機能に関する説明資料の中の、
1:00:34	まず本文側の方だってですね 10、
1:00:43	14 ページ目の表 5 っていうところに寸法条件の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:48	ところはパワーポイントにももう少し詳しく、
1:00:52	書いてあります。
1:00:54	それからあと具体的に
1:00:56	どういう
1:00:58	感度解析をしてるのかということにつきましては、
1:01:02	同じ補足説明資料の中の、別紙 1 の部分ですね。
1:01:09	ここに
1:01:12	へー。
1:01:14	書いております。
1:01:18	それで実際に最大値、最小値、公称値、
1:01:22	どういうふうにとってるかっていうのは
1:01:25	この別紙 1 の方で詳細に記載してる。
1:01:31	聞いてます。
1:01:36	その具体的にあれですね、感度解析の結果の方が表の形式に書いてありまして、
1:01:44	この補足説明資料だと、別紙 1 の、
1:01:48	2 ページ目以降の投票がたくさん出てきますけども、
1:01:54	材料密度の感度解析というのが
1:01:58	表の A-1-1 で、
1:02:00	材料組成、
1:02:02	拡張性ですね、こちらの方の
1:02:05	感度解析の結果が表の A-1 の、
1:02:09	うん。
1:02:10	それからあとその寸法関係がちょっと
1:02:14	長い表になってますけども、
1:02:17	ページ、4 ページ目。
1:02:20	表の A-1、1-3、これがずっと、
1:02:24	5 ページ 6 ページも同じ表がずっと続いて、
1:02:27	ますがこういった形で、
1:02:31	感度解析の結果について
1:02:34	表形式でまとめてます。
1:02:38	以上です。
1:03:01	規制庁のトガサキですけど先ほどのパワポの 13 ページのところ、
1:03:08	感度解析結果に基づき設定っていうのと、あと他にちょっと理由が書いてあるものに分かれると思うんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:18	それぞれちょっと確認したいんですけど、
1:03:22	まず感度解析結果に基づき設定っていうのは、
1:03:27	補足説明資料でいうと、
1:03:34	あれですね。
1:03:35	9 ページ、9 ページの、
1:03:38	ところで、
1:03:40	1 下から二つ目のパラグラフのところで、
1:03:45	別紙 1 に示す冠水条件での中性子実効増倍率の、
1:03:51	感度解析の結果を踏まえて設定していますって書いてあって、
1:03:55	別紙 1、
1:03:57	別紙 1 っていうのが、
1:04:00	後ろの方についていて、
1:04:02	1、
1:04:05	これはペイン何ページかちょっとよくあるアベ、別紙 1 っていうところの 1 ページで、
1:04:12	これはちょっと枠の枠囲みなんですけど、公道を使って感度解析をやってますけど、
1:04:20	そのコードっていうのは、
1:04:23	ちゃんと検証されてますよっていうのが、
1:04:27	別紙 2、
1:04:28	別紙に
1:04:32	bポツのこれもちょうと枠は込みなんですけど、
1:04:38	そうですね 1 ページから 2 ページにかけてバーツ書いてあるんですけど、
1:04:44	こんな上の方の普通の臨界計算で用いるコードっていうのは、それはよく見るものなので、他の
1:04:55	実績とかもあると思うんですけど、感度解析の行動。
1:05:00	っていうのは、他のところで実績とかってありますか。
1:05:10	GNSJapanのモンマです。
1:05:12	この綱ミイ、
1:05:24	すいませんこの
1:05:27	感度解析で使ってるこのコードっていうのは
1:05:31	もともとこのSCALEコードシステムの中に
1:05:35	入ってるものなんですけど確かに、他社の資料とカー見ると、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:43	公開してる部分だけしか我々見れないんですけども、そこにはこういったシステムを使ったという、ちょっと形跡はちょっと見当たらなかったのは確かです。
1:05:57	ずっとたシャワー。
1:06:01	なんか定性的に説明してんですよねあのさ最大と最小とかっていうのがあって、
1:06:09	その理由をいろいろそれ説明してるんですけどこういうなんかCOCOコードでええや、やってますっていう説明は、あんまりちょっと見たことがないので、
1:06:20	こういう説明でもいいんですけどそしたらこのコードがどういうものであるのかとか、本当にちゃんと保守的に評価されるのかですね。
1:06:30	ていうのもちょっと確認しないとイケないので、
1:06:33	だそそういうもんだと思って、審査すればよろしいですか。
1:06:41	JNESJapanモンマです。
1:06:45	どういう高度化というものについてはこの補足説明資料の中で、
1:06:52	すいませんちょっと隠しちゃってる非公開にしちゃってる部分が多いんですけど、
1:06:58	フローで言いますと
1:07:01	そうですね。
1:07:03	感度解析の部分は
1:07:07	図のAの2-2っていうところ。
1:07:10	で、こういったものなんですっていう、
1:07:16	ていうのを書いてます。
1:07:21	規制庁のトガサキですけどちょっと詳細にちょっと見ないとわかんないんですけど要は、そのC、例えば小高さとかD、プラマイがありますよね。
1:07:33	Dだいろんなパラメーターがあってその全部の組み合わせ、
1:07:37	全部の組み合わせをやってやってるんであれば、それで一番厳しいところを取ってるってことであれば問題ないんですけど、全部ではなくて、何かそういう確率的な、
1:07:50	ものでやってるとしたら、その郷さんみたいなのもあると思うんですね。
1:07:55	ちょっとそこら辺が、
1:07:58	どういふも、ひっぱコードなのかっていうのをちょっと説明してもらふ必要があると思いますので、ちょっと全体枠額になってるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:08	ちょっと公開できる範囲で、
1:08:13	説明をお願いしたいと思いますけど、今説明できますか。
1:08:19	ここオカは、公開できる範囲で、今、
1:08:22	説明してもらいたいんですけど、特に今、ちょっと私が心配してんのはもう本当に、ただ機械的に、そのいろんな全部のパラメーターをプラマイ全部計算して、
1:08:34	それで個々のパラメータが一番厳しいですよっていうのが出てきてるんだったら、そうしたら問題ないと思うんですけど、もうやっぱりいろんな工夫すごいパラメータがあると思うんで、
1:08:48	この確率何%でこうだとか、そういうような結果だとその、その誤差の部分というのも考慮しないといけなくなると思うので、そういう通貨観点でちょっとどういうコードなのかっていうのを、
1:09:00	説明いただきたいと思います。
1:09:09	原燃輸送のコガですけれども、先ほど、
1:09:13	門馬さんから説明がありました通りSCALEコードの一部として、こうい う
1:09:22	感度計算の
1:09:24	シーケンスがあります。
1:09:27	いう中で、
1:09:31	ページ目で、
1:09:39	補足説明資料です。
1:09:43	1 から見ていただきたいんですけども、
1:09:50	基本的にはノミナル値みたいなのところがありまして、それに対して、このプログラムですわ感度の範囲みたいなのが設定されて、その
1:10:01	範囲において、この出るだけ反応度ですわ、がプラスになるのかマイナスになるのかというのを、見れるプログラムだと。
1:10:10	いうことになっていまして、それで、その次のページがですわ、2 ページ以降ですわ、材料感度の感度解析
1:10:20	で、材料組成の感度解析というものがまずあります。いわゆる
1:10:26	飲みな初期値ですわ初期値と書いて、ちょっと初期値と書いてあるところがーミナミで、それに対してこのプログラムで、この範囲を設定された部分の最小値と最大値というのがあると。
1:10:38	これに基づいて、先ほど結果のところでは最小値とか最大値と書いてあったものは、ここのもので、いわゆる
1:10:47	これで、例えば今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:49	材料密度であれば
1:10:52	組成であればこうという話があって一番気になる場所がその次のページ下の 1-3 というところの寸法というところなんですけれども、寸法、
1:11:04	バスケット、
1:11:06	この部分を狭くしたらどうか。
1:11:08	記録したらどうかというのが、ここで、
1:11:12	各それぞれですね、1 個 1。
1:11:15	ありまして Δk がプラスになっている部分。
1:11:20	が、反応度が高くなっていて、マイナスになっているところは、皆病院も小さくなっているんで、これの赤いところ取りをしていくと。
1:11:30	いうふうにして、
1:11:32	計算していると。
1:11:35	聞いております。はい。
1:11:38	ということで、ちょっと定性的な説明になりましたけどちょっと何か、中身が結構マスキングされているんであれなので、
1:11:47	このプログラムがやっていることというのは今ご説明したような内容となります。
1:11:55	すいません以上ちょっと言い言っちゃいけなかったら言ってもらいたいですけど、この別紙 1 の、
1:12:02	2 ページ目の評価の表の中に書いてある、
1:12:06	一番右の結果の手前の欄ありますよね。
1:12:13	うんかんかんどうこの感度ってどういう感度なんです。
1:12:58	経年数 Japan モンマです。この
1:13:01	感度のタカギなんですけど
1:13:05	反応動に関係する単位っていうのは聞いてまして、
1:13:10	Δk のあれですね、関係する単位、
1:13:16	ちょっとですね何か
1:13:18	具体的な単位をちょっとまた確認したいとあれなんですけど。
1:13:22	うん。
1:13:23	これで反応とか
1:13:26	大きくなったり小さくなったりっていうところ。
1:13:29	を見てるっていう、
1:13:49	町のホデなんですけども、ですから、ここで、
1:13:54	基準モデルに対するイフェクティブっていうのがあって、これは多分ノミナルで計算されたデータ、結果がまずあって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:04	そこに対して、何かパラメーターで、
1:14:08	要は自由みとりを変えてきたとか、
1:14:11	その減数密度を変えてきたといったときに、
1:14:15	この出るだけっていうのは、
1:14:18	普通だったらね、普通だったら、このウエノのピラに対して、プラス、幾つ です。例えば 4%というのは 0.04 名。
1:14:27	0.04 とかね、いうことになって、たとえばであれば、仮にこれが、
1:14:33	有り得ないけどちょっと有り得ない数字で言いますけどもここでこの数 字に対して 0.96 とか 97 とかね、そんな花Cになりますよっていうことが わか分かるんだけれども、
1:14:44	だからその ΔK のことなんですかこれ。だから、要は、119。
1:14:52	数値出てるからいいですね、仮に -119 っていうことは、
1:14:56	これは 1.19% 下がるという意味なのか、全く違う、違う、要は、物理量を 表しているのかどっちなんでしょうか。
1:15:08	参考までにちょっと教えていただければ結構です。
1:15:11	大小の比較は、相対的に見るっていうのは何となくわかりますから。
1:16:22	というかすみません JNES Upper もまず単位もですねちょっと
1:16:27	先ほど私がちょっと申し上げたなんか反応度に関連する単位だと思い ますって話もちょうと持ち帰って、ちゃんと確認したいと思いますので、
1:16:37	はい。すみません。規制庁の加瀬です。これがちゃんと書かん感度が、 K エフェクティブであるのであれば、
1:16:46	二つな感度解析やって、ノミナルからこう変えたときに、どれだけ反応度 が高くなるのかっていうのを全部、
1:16:57	のパラメーターについて、チェックして、一番厳しくなるような、パラメータ ーを設定してるっていうこういうことだと思うので、
1:17:08	だからそれがちゃんとこの形 FT 部の
1:17:12	増加分をちゃんと見てるんですっていうのは、わかるような説明ですね 多々単位も含めて、
1:17:20	そういうのをちょっとわかるようにしていただきたいと思うんですけど。
1:17:27	愛知の江坂桃井です。はい
1:17:30	その丹伊井の確認も含めて、あれですね、よりわかりやすい記載になる ように背景とします。
1:17:41	だからできるだけそういう多分単位とかオープンにできますよねだ、デジ タル値は、これもちょっとよくわかんないのが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:51	A表A-1-1は全部枠が区分なんですけど、このA-1-3とかは、部分的には囲みになってたり、だから感度解析の結果は全然
1:18:04	あれですよ。マスキング情報じゃないわけですよ。
1:18:09	だからちょっとここでね、何がマスキング情報なのかとかそれも、
1:18:14	そういうもの含めてちゃんと説明したいところは、できるだけはマスキングしないほうがいいと思うんですよ。
1:18:23	だからそこをちょっと考えてもらった方がいいと思います。
1:18:28	はい、JNES本モンマです。表のあれでマスキング課長もちょっと説明と関連させて、できるだけ、
1:18:37	公開的には公開するっていうことを検討します。
1:18:47	規制庁松野です。パワポの13ページ目の、
1:18:54	一番上のこのバスケット格子内のモリ先方で設定根拠が感度解析結果に基づき設定とその上に、全体にわたってのバスケット1の平均値って書かれてるんですけど、
1:19:07	このバスケットにわたっての、
1:19:09	全体にわたってのバスケット1の平均値。
1:19:13	これ具体的にどういうこと。
1:19:15	言ってるんですか。
1:19:17	元GNSJapanのモンマです。ここはあれですね感度解析の結果も使ってるんですけども、結局
1:19:27	設計上の寸法上の制約があるので、全体にわたってのバスケット平均値。
1:19:36	のところを最大取ってますっていう意味になりまして、
1:19:41	高良の何だろう、感度解析で、何でも最大とか最小とか取ってるのではなくて、その寸法上の制約も加味して判断してますっていう。
1:19:53	そういう言い方です。はい。
1:19:56	ちなみにこの該当部分の、
1:19:58	先方の感度解析結果で何ページ目になりますか、ですね補足説明資料の、
1:20:10	別紙1の、
1:20:13	5ページ目ですね。
1:20:15	表、1'3って書いてあるところの一番上の部分になります。
1:20:23	これで見るとですね
1:20:25	ちょっと待ってください。
1:20:30	見つかりましたか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:33	表のA-1-3。
1:20:36	これちょっと不複数のページに渡ってるので別紙1で言うと5ページ。
1:20:44	はい。
1:20:46	ここであれですねいくつかの
1:20:50	バスケットこう強くないノリ寸法っていうのが
1:20:56	幾つかのパラメーターで変化感度を見てるんですけども、
1:21:00	ここで際、この表の最大っていうのは
1:21:06	ちょっと別な数字になってると思うんですけど、
1:21:10	これは全体にわたってのバスケット平均値を考慮して、結果的にはパワーポイントの13ページにある、
1:21:19	この数字になってますっていう。
1:21:29	ところですねちょこ感動解析の説明は、別紙1の5ページにあるんですけど、
1:21:38	そのさっきのパワポの13の全体にわたってのバスケット1の平均値の説明ですね。
1:21:45	それがどこにあるんですかっていうことなんですけど。
1:22:16	すいませんエン・ジャパン門馬ですけどちょっと今日もあれですね、委員会の資料上はこの先方が、
1:22:23	載ってるものが、
1:22:25	ないと思って。
1:22:27	うん。
1:22:31	ちょっと例えばパートのPubl補足説明資料の7ページに、
1:22:38	このこれも枠組みなんですね絵が書いてありますよねこの
1:22:45	場全体にわたってのバスケット
1:22:50	1の、
1:22:52	平均値っていうのは、この中のバスケット格子内のりっていうのは、この格子がありますよね。
1:22:59	小講師の、
1:23:01	何か内側の、
1:23:02	感覚なんですよね。はい。そのの、
1:23:06	坂スケール全体にわたってのバスケット市の平均値って書いてあんですけど、
1:23:12	これは
1:23:13	何か全体、寸法が若干違うんですか。
1:23:21	内野李は、この整合系なんですかねこれ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:28	なあ。
1:26:40	あ、すみません委員ちょっと言いました。
1:26:44	質問した。
1:26:47	バスケットのこの位置についてはどうですか今の資料に書いてないんだ ったら書いてないで後で説明してもらえばいいんですけど、
1:26:57	今回の説明に、さっきのパワポの 13 ページの一番上の、全体にわたっ てのバスケット 1 の平均値。
1:27:06	を説明した情報というのは、
1:27:09	この
1:27:11	パワーポとか補足説明資料には入ってますか。
1:27:18	けなしジャパン本までサノ
1:27:22	具体的な数値を使った説明っていうのは補足説明資料の方にも書いて ないですので、
1:27:31	今おっしゃってるのはここで書いてある全体にわたってのバスケット平 均値っていうのが具体的にどういう数値からどういうふうに計算されてる のかっていうのを記載すべきだっていう、
1:27:45	そうですので、感度解析の方は先ほど説明あったんですけど、だから感 度解析ではなくて、定性的に説明し、されているところ。
1:27:53	それはちゃんとその具体的な根拠を説明していただきたいということ です。
1:28:37	はい、JNESジャパンも大前さんすみませんちょっとあれですねもう少し 丁寧に記載しナイトウはカジタかったのかもしれないですね。だから感 度解析の結果だけを使ってるっていうんじゃないで、
1:28:49	それ以外の部分をちょっと使ってるってところはもう少し丁寧ん。
1:28:52	記載したほうがいいってことです。
1:28:55	ちょっと持ち帰りたいと思います。
1:28:58	ちょっとわからないのが、このみんなこのうちの利点の先方っていうの は全部決まって実正方形で全く同じで、
1:29:07	それを感度解析でやってますってだけの話なのか。
1:29:11	その内のりっていうのは、場所によって違って、その平均値をまず決 めて、その平均値に対して感度解析をやってるのか。
1:29:22	ていうのがわからないんですよその二つの理由が書いてあるので、
1:29:26	だからこの解析、感度解析の中に含まれる含まれてるのか、その下位 の解析の条件を決める他のために、平均値をとってきてるのか。
1:29:38	ていうのが、まずわからないんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:40	まずはそれについてどちらかっていうのを答えていただけるのであれば、もし、感度解析の中に含まれるって話だったら向こう感度解析の方で説明すれば良いい話なんですよ。
1:29:56	はい。喜納沙華モンマ李サノ。
1:29:58	はい。ちょっとわかりにくい説明をしてしまったのかもしれないんですけどちょっと具体的にどうかカトウかってのは持ち帰らせていただきますが、このバスケットCの内のり寸法については、
1:30:13	感度解析結果だと先ほどの補足説明資料のちょっと違うとちょっと違った数字なので、それから直接出てくるわけではなくて、
1:30:23	この全体にわたって伸ばせる的な平均値を使ってそれで決めてますっていう意味なんです。大体、ちょっとわかりにくいと思いますので、ちょっとわかり、もう少しわかりやすいような形。
1:30:35	ちょっと持ち帰って検討させていただきたいと。
1:30:40	わかりましたあれですね別紙1の5を見ると、確かに0のところの寸法と違いますよね。だから、
1:30:49	その0のところの寸法が多分
1:30:54	全体にわたっての平均値なんです。
1:31:01	それでパワーポイント等もの資料もあれですね、13ページのところ他にもですね感度解析だけじゃなくてっていうのはちょっと説明が書いてあるところもありますんで、そこも同じだと思いますんで、
1:31:16	そこもちょっともう少しわかりやすい。
1:31:20	はい。すみません。規制庁のホデですけども。
1:31:24	感度解析キーで振ってやったってのはわかるんですけども、それ以外の定性的なところはね、例えば、
1:31:34	吸収効果とか、相互干渉とかね、いろんな、要は臨界解析上、反応度を上げる要因があると思うので、
1:31:45	その辺のキーワードをね、
1:31:48	どうした方が高いっていうのは大体、専門家に聞けば、理解されるものだと思うんですけども、そういうことを、定性的なところはまずそういうところをお願い、
1:32:01	できればいいかなと思いますんで、
1:32:05	えっとですねちょっと何点か教えてください。
1:32:10	要は、寸法に関わるパラメータスタディっていうのは、多分公差の範囲とか、そういうもので決められていると思います。
1:32:21	おそらく、あまり今まで、どうですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:26	だから、割と中の方の話は何となくわかるんですけども、
1:32:30	し、
1:32:32	ちょっと理解、何でこんなことやる必要があるのかと思ってるのが、
1:32:37	キャスクキャビティの水平方向の部分浸水っていう項目があるんですけども、
1:32:42	要は、
1:32:44	まず、補足説明資料のね、最後のこの資料。
1:32:51	これ何、別紙3ですよ、別紙3の、ここで様態を示していただいているんですけども、
1:33:00	要はこんな水位が変わるようなことが起こり得る様態はないと思うのに、なぜこのような、要は非機構論的なね、ものが必要なのかという、
1:33:11	こう考えるべきかというところを教えてください。本来は、かえってこうこんコンフューズしてしまうんじゃないかなと思います。で、
1:33:20	こういうことを、もし、こういうふうな考え方でやるんだったら例えばね、
1:33:26	キャスクがローテートローテートした場合ね、こう回ったとするじゃないですか。45度になった時に碓井のこのパラメーターとかね、もうまた無限になってくると思うんですね。ありえないことをいろいろ考えてきたら、
1:33:39	だから、本当にこれが必要だったら必要な理由をちょっと教えてください。と思います。
1:33:45	それとは別に、以前から、橘氏、いろいろ講座、いろんなお話で、ちょっと頭でさせていただいたことはあると思うんですけども、
1:33:57	今の評価で水位、要は垂直鉛直方向に置いたときの水位の問題でもっと言えば、このバスケット構造で、要は、
1:34:08	エアーだまりが絶対できないと、いうことを説明していただきたいと思います。
1:34:15	多分いろんなものでこれ菓子折り構造のバスケットということなんですけれども、非常に気になるのは、割と皆さんだまりとか何とかっていうのが、
1:34:27	あってそれ抜くような仕組みっていうのは皆、皆さんいろいろこう考えて、設計に盛り込まれてるんですけども、そういうところがあまり見えないと。で、
1:34:37	どういう状態かという、例えば、
1:34:40	水張ってて、小阪さんにプットやったら、何か水入ってこないですよ。
1:34:46	だからそういうふうな特にここで言う、何だ、ウェブウェブですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:52	ウェブ自身がそういうマエダなってんじゃないかと、いうふうな懸念があります。だからこれが、そういうあまりを、生じるリスクをなくし、
1:35:04	宇和ないんだというまず、
1:35:06	御説明で必要であれば、エア抜きを作るなりですね、そういうふうな、設計の方、方針に基づいて、こういうものを設ける設計とするというところですね、
1:35:19	ちょっと検討いただければと思います。
1:35:24	よ。
1:35:34	ですから、まずだから、感度の話をした確かに今見ると、この補足説明濃度データ等、
1:35:45	このパワポのデータがかなりちょっと違うところがありますので、
1:35:50	そこをちょっと確認してもらえますか
1:35:54	まずそれはちょっと大前提だ、だと思いますので、
1:36:00	そ、その確認は、お願いしますよろしいですか。
1:36:05	具体具体的にどこが違うかという、言った方がいいですか。
1:36:09	こちらで、JIS日本の三枝トガサキさんの今のご指摘は、こちらで今理解して、例えば、
1:36:19	補足説明資料の別紙1の5ページの、
1:36:22	先ほど来、議論になっているバスケット更新の寸法が、
1:36:27	219.6、幾つかの数字から、66、
1:36:31	6種類ぐらいパラメータ振っているけども、その中で Δk が一番大きい数字があるにもかかわらず、パワーポイントでは違う数字をとっていると、この違いの説明をするようにという、
1:36:42	ご指摘です。そうそうです。わかりました。はい。その他にほかにも、かなり数値がとかありますので、
1:36:48	その説明は、お願いします。
1:36:52	あとちょっとその感度解析の観点で先ほど、
1:36:55	一番厳しい、取りをしてるっていう話はあったんですけど、
1:37:02	いろんなパラメーターがある中で、その基本ノミナル値であって、一つのパラメータを感度解析や、やった結果なのかそれとも、もうその多分一つのパラメータを変えたときに、その相互関係で他のパラメーターが、
1:37:16	連動されて、それが例えば先方を広くしたら、他のところは先方が狭くなるとかですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:24	水の量が変わるとかそそういうのがあると思うんですけどそういうのも、連動した評価評価なのか、もしそうでないときはそういうところの考慮っていうのは、どういうふうに考えるのかっていうのも、
1:37:37	あわせて、
1:37:39	説明をお願いしたいと思います。
1:37:42	それとあと、ほぼさほど言った、この水平の話はですね、この
1:37:50	ページで言うと、
1:37:54	パワポの 9 ページですね。
1:37:56	9 ページのウ、
1:37:59	片括弧 3 のところに、
1:38:02	水平姿勢における水浸水は、取り扱う貯蔵中には想定されないが、評価を行うと書いてあるので、
1:38:09	これが何で評価を行うのかですね。
1:38:13	そこら辺の説明を、
1:38:16	まずこれについては今ちょっとまず考え方を聞きたいと思いますので、お願いします。
1:38:53	はい、じゃあ者パフォーマです
1:38:55	水平性の浸水状態を、
1:39:01	どうして評価する必要があるんだっていうことですけども
1:39:04	確かに反応、補足説明資料の最後にある別紙の 3 ですかね。
1:39:10	このハンドリング上は想定されない時なんですけども、
1:39:17	みりんかの評価のあれですね、保守性の観点から
1:39:23	一番
1:39:26	そうですね。
1:39:28	主急性期構造倍率が最大となるっていうところを評価します。
1:39:39	規制庁の方ですけども、今のご説明で、
1:39:45	でもあまりね、
1:39:48	どうですかね。あり、ありもしないようなモードに対して、実施するということは、評価に対して条件を無限大に定めていかなきゃいけないところの懸念もありますので、
1:40:00	本当に必要なのかどうかっていうのは、今一度再考いただきたいと思います。
1:40:07	す。それに関連、関連して先ほどの水位が常に一定であると、一番こちらとして懸念しているのは、要はウオーターギャップのところの水がなくなって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:20	というか、水が入らなくて、要は燃料が収納されてるその 224 の領域、222 かなの領域に水が入っていくと。
1:40:32	いうところになりますと、結局そこで、
1:40:36	要はそのウォーターギャップで、要は水が入ってるときには、コントロールされますので、そのコントロールが失われるということになりますので、そういうことが出ないという構造であるという説明が、
1:40:48	未臨界性を維持するということでのね、大前提条件だと思いますので、その大前提条件が成立するということを説明していただきたいと思います。
1:41:48	すいませんちょっと二つ。
1:41:51	あるんですけど、
1:41:54	ああいう、
1:41:58	ちょっと今の質問に関してちょっと二つあるんですけどパートの
1:42:02	11 ページ、11 ページの図を、
1:42:05	ちょっとこれの意味をちょっと説明してもらいたいんですけど。
1:42:09	ここの図を見ると、水と空気っていうのが、真ん中の図だと、下の方が見て、上が 9 シンクなんてなっていますね。
1:42:21	日右の図だと、この縦になってるんですけど、
1:42:26	左の方は水で、右が真空になってます。
1:42:30	これは水平姿勢の水の浸水を想定してるんですか。
1:42:35	知恵ねJapanモンマです。パワーポイント 11 ページ目の横断面と縦断面の一部あれですよ
1:42:45	うん。
1:42:46	水じゃないっていうところの話ですけどもおっしゃる通りでこれは水平、
1:42:51	の姿勢での
1:42:53	あれ、こういう状態になるっていう、
1:42:57	こういう状態の評価になります。
1:43:01	規制庁の高瀬でも、もしそうであれば、このさっきの、
1:43:09	説明はちょっとまだですね、9 ページですね。
1:43:13	9 ページは、基本的に冠水状態を考慮した解析を行います。
1:43:20	部分的な浸水状態も評価します。水平は本当はない、想定されないんですけど評価を行います。三つに、三つの説明をされてます。
1:43:31	だからまず本来やるべきもの。
1:43:33	ていうものを説明していただいた方がいいと思うんですけど、いかがですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:44	DNSサーバも丸さん、本来やるべきということは
1:43:52	水が0館野です。立野君まずだから順番、これ縦縦置ですよ。
1:44:00	縦置きのこの9ページに説明されてるのは、
1:44:05	縦置の冠水状態。
1:44:08	次がまたはその縦置きで部分的な浸水状態。
1:44:14	筋想定されないんですけど水平の
1:44:19	評価。
1:44:20	ていう三つが書かれてますよね。はい。
1:44:23	だからまず縦の冠水状態をせずですね。
1:44:27	次に縦の部分的な申請というのちょっとどういう状態かわからないんですけど、その図、
1:44:34	やる必要があるかわかんないんですけど、その水平のずっと今ついてるものですね。
1:44:40	そういう順番で説明していただく。
1:44:43	必要があると思うんですけど、いかがですか。
1:44:46	藤。
1:44:48	ここのですねパワーポイント11ページ目その一部が水が入ってないってところの内の話なんですけど、
1:44:58	ここを
1:45:00	ちょっと説明ワー
1:45:02	詳細してなかったんですけども補足説明資料のですね。
1:45:08	別紙1の6ページ。
1:45:12	具体的に表のAの1-3の最後のページですね、6ページのところの、
1:45:19	最後にですね水平方向部分の浸水とか
1:45:27	ていうところが
1:45:29	表にあるんですけど、この
1:45:32	感度解析キーの結果あれですね
1:45:36	この先ほどのパワーポイントの11ページ名の
1:45:41	横断面図とか、縦断面図の状態が、臨界評価上一番厳しい状態になるってことで、
1:45:53	これは評価しますっていう。
1:45:59	そうですね
1:46:00	水平方向部分浸水っていうものを久喜の表の0-1なんですけど、その上に鉛直方向の部分浸水っていうのも書いてあって、冠水状態についても

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:13	この中での評価をして、
1:46:18	規制庁のトガサキですですから、順番。
1:46:23	順番を追って巻き1何で水平のところだけを説明するのかよくわかんないんですけど、
1:46:30	ちゃんと鉛直の
1:46:34	人生の冠水状態。
1:46:36	これ全部完遂なんですかね。
1:46:38	冠水状態っていうのが、だから、
1:46:41	ここはマスキングされてないんで、別紙C、1-6 ページの、
1:46:47	表のA-1-3 の、
1:46:51	外部、境界条件の配列系の冠水状態。
1:46:56	これ、まずこれをやってますと、
1:46:59	それとあの部分浸水については、
1:47:02	この一番厳しいのはどこなんですかねこれは、
1:47:07	これはだからなぜ3点、30センチですか。
1:47:13	その30ページの一番厳しいのはどこ。こういう部分的なものも%感度解析でやってますと。
1:47:19	で、やる必要があるのかよ。要は、ちょっとまた説明してもらいたいですけど、
1:47:24	水平、水平の時に1、講師がだんだん数、
1:47:31	どこまで水が入ったかっていうのを考慮して、一番上が入ってない場合が一番厳しいので、それを解析をしますと。
1:47:41	だから、
1:47:43	ここのあれですかその1、これを比較すると、
1:47:48	一段、
1:47:49	飛びの155つちゅうのが一番大きいから図、図はこれを載せたということなんですか。
1:47:54	はい。はい、そういう。
1:47:57	なんだそうであれば、その繋がりの9ページの説明との繋がりですね。
1:48:05	それがないと何、何でいきなり水平の、今回縦置きに7-2、水平の絵がついてるのかってのはわからないんですよ。はい。
1:48:14	だったらちゃんと丁寧に順を追って説明していただく順番はあれですねおって、わかりやすいようにっていう、
1:48:39	縦の方はね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:41	すいません規制庁の方ですけど、ホデですけども、先ほどちょっと申し上げました通り、ふるか、要はナカノ水を振ってると。
1:48:53	ということだと思うんですけども、
1:48:55	要はこの構造で特にPWRの場合は、その水位というか、
1:49:02	一番第一番大事な前提っていうのは水ギャップ等用先ほどの燃料の収納領域の水位が、
1:49:12	同じ、もしくは水ギャップの水位が必ず高くなる。
1:49:17	そうじゃない限り非常に厳しい状態になると考えられますので、その状態が、要はこの設計で担保できるということを、説明した上で、
1:49:28	このパラメーターを行った、
1:49:33	どうですかね。
1:49:35	前提この、この前提条件としていいんだという説明をお願いしたいと思います。
1:49:45	ちょっと先ほどだから言われてたのはこういう、水が、水位がこういうふうに満たされるときに、このウェブとかがありますよね。
1:49:57	そこをちゃんと隙間を通して水がちゃんと下に入るかとか、空気だまりができないかとか、
1:50:04	そういうこともちゃんと考慮されてますかっていうことだと思んです。ただ単に、このパラメータスタディで水がここ水がここっていうのをやって後は真空とかっていう、
1:50:16	飄々カーでだけではなくて実際の挙動ですね、水がちゃんとウェブの隙間とかを通じて、ちゃんとその水になって、その上の部分は真空になるとかですね。
1:50:29	でも、場所によっては空気だまりが残ってしまったりとか、そういうことを、
1:50:35	ちゃんがないってことをちゃんと考慮されてますかっていう。
1:50:40	いう質問だと思います。
1:51:03	現にその後ですけども堀さんのご指摘の通り当然水ギャップに空気が残ると、非常に反応度が上がると、というような話はもう当然認識しておりますして確実に水が、
1:51:17	入るという説明を
1:51:20	させていただきます。
1:52:00	マツノです。笹倉線、この模型使って今から説明するんですけど、
1:52:05	見れますか、見えてマースありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:42	規制庁松野です。ちょっとヒアリング時間がちょっと 12 時になりましたので、
1:58:48	ちょっと残り。
1:58:50	まだちょっとコメント確認とはあるんですけど、そこはまた次回確認したいと思います。
1:58:55	最後にちょっとスケジュールについて、一応資料、
1:59:00	の提出がありましたので、
1:59:02	少し変更点中心に、これだけちょっと説明をお願いしますか。
1:59:48	私、GNSJapanの左右されせえスケジュールについて説明します。前回からお出ししていることに対する変更点を中心に説明いたします。
1:59:58	まず、全般のラインのところですけども、3ヶ月ほど、右側にシフトさせました。
2:00:07	シフトされた原因は、ここの、
2:00:10	補足説明資料の、ヒアリングとか審査の
2:00:16	状態が
2:00:18	やはりその分、三階約3ヶ月分右側にずれているということに原因があります。一つ一ついきますと、4条対応地震対応につきましては、
2:00:29	734日に審査コメントを受けましたのでこれに対する対応を、当初考えていたよりも時間を要することになっていますので例えば、
2:00:40	今の時点ですと、5月の中旬に、
2:00:43	それに対応させていただくと。
2:00:46	この三角の意味ですけども、白抜け三角が予定で、黒抜きの参加実績を示します。
2:00:54	それから、同様に56条対応につきましてはヒアリングを受けて、
2:01:00	特に審査コメントは受けてませんので今のところ
2:01:07	その次の予定は今不明としています。
2:01:11	それから今後ですけれども、除熱と閉じ込め、
2:01:14	と一番下にある16条共通、これは
2:01:18	材料とか構造について示した全資料共通のような資料ですけども、
2:01:24	これを、この三つを例えば4月の最後に、ヒアリングを受けたいと考えています。
2:01:33	そのためにはその1週間前以上に資料を提出しなければなりませんけれども、それを前提にしています。
2:01:40	それから、写生につきましては、3月は2月9日、3月11日にヒアリングを受けまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:47	次は審査資料を出すということでこれを5月中旬に
2:01:53	申請審査署名審査を受けられるように資料を出そうと考えています。
2:02:00	合わせていくこととなりますけれども長期健全性については、その時期に、やはり、
2:02:06	ヒアリングを受けられるように、資料を準備したいと、提出したいと考えています。
2:02:12	臨界については本日14日、ヒアリングを受けまして、また今日コメントを受けていますので、
2:02:19	適切な時期に資料、
2:02:22	準備して、次のヒアリングに沿いたいと考えています。
2:02:27	これらの個々の資料の、
2:02:31	ヒアリング、審査コメントが長くなっています受け鉄、最終、冒頭説明した全般の致死予定も3ヶ月、右側にずらして、
2:02:43	います。
2:02:45	最終的には、直近の最終的には8月ぐらいに、最終的な補足説明してお出しして、そのあとの審査を受けたいと考えております。
2:02:58	よろしいでしょうか。
2:03:01	規制庁松野です。ちょっと幾つか確認したいんですけども。
2:03:05	まず、
2:03:07	ゴールデンウィーク前に一応ヒアリングを希望している内容としては、
2:03:14	情熱閉じ込め、あと、一番最後のこの共通事項、この3件について、
2:03:21	4月下旬ヒアリング希望ということでいいですか。その通りです。
2:03:25	こちらもちょうといろいろ他の案件も含めて、
2:03:29	ちょっと、
2:03:30	立て込んでまして。
2:03:33	もし、
2:03:34	7月の2425、
2:03:37	もういずれかで、
2:03:40	行くとすれば資料の提出は17もしくは18になりますけども、
2:03:45	その日で比木資料の提出間に合いますか。
2:03:48	ちょっとお待ちください。
2:04:17	であれば多分ゴールデンウィーク前のちょっとヒアリングちょっと難しくなります。
2:05:41	ちょっとそこは、別途調整してまたメールでご連絡いたしますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:21	規制庁末であともう一つは書面審査会合向けの資料の提出なんですけども、
2:06:29	今ヒアリングで、
2:06:31	次、遮へいと、臨界を今ヒアリングで確認してますけども、
2:06:37	こちらが、
2:06:39	5月中旬ぐらいで書面審査会合資料の提出ができるかと理解していいですか。
2:06:49	HS。
2:06:52	GNSJapanサエグサです。
2:06:54	署名審査用の資料。
2:06:57	つきましては遮へいと、
2:07:00	後、地震の方ですね。
2:07:03	わかりました。では地震と、遮へい、
2:07:08	この二つを、
2:07:10	大体5月のいつぐらいに提出できますし、
2:07:16	友達アバウトのちょっとお待ちください。
2:07:39	はい。書類審査を継続すれば今の状態ですと、遮へいに関する、
2:07:45	内容だけですね。はい。
2:07:48	これについて、いつごろ資料出せるかというご質問です。
2:08:31	規制庁の松村です。
2:08:34	わかります。ではちょっといずれ西陽子、
2:08:38	資料がまた作成次第、別途連絡いただければと思いますのでその時点で、ヒアリングが可能な日はまた別途調整したいと思います。
2:08:49	はい。JAジャパンサービス。
2:08:53	資料の作成準備、あと討論。
2:08:56	めどがついた段階で改めて、
2:09:00	書面審査を受ける。
2:09:03	日付、スケジュールを提案させていただきます。
2:09:08	櫻井さんから何か追加で。
2:09:12	確認。
2:09:13	何か補足等ありますか。
2:09:16	ないです。
2:09:20	あ、すみませんちょっと最後の方聞き取れなかったんで4月のヒアリングは、資料提出上、
2:09:26	無理ってことでいいんですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:31	JSジャパン。
2:09:33	このサエグサです。
2:09:35	4月のヒアリングはこのスケジュールにありますけども、
2:09:39	次、現実的な対応を考えると無理で、
2:09:44	多分、5月のゴールデンウィーク明け、
2:09:48	2、うん。
2:09:49	ヒアリングを受けたいという考えです。
2:09:52	それも具体的には資料を例えば4月の20、遅くとも26日に渡さなきゃいけないという話なので、
2:10:03	それをちょっとこちらで検討させて、
2:10:06	現実的な、
2:10:08	スケジュールになるかと検討させていただいて、メールにて、
2:10:12	提案をさせていただきたいと思います。
2:10:16	ありがとうございます。
2:10:20	ちょっと規制庁とはトガサキですけど、このスケジュールについては、昨年の11月の新審査会合のときに、
2:10:31	示していただいている、その時に、この介護の会合の最後に、
2:10:42	GNS側の審査体制が再構築されたり、審査設上スケジュールの大幅な見直し等があった場合は、公開ウェブでの審査会を開催し、
2:10:56	審査の状況を確認するとともに必要に応じて、審査の進め方の見直し等を行いますということを行っているところだと思います。
2:11:04	今回、3ヶ月、その時からの説明から遅れるっていうことなんですけど、その遅れる理由ですね。
2:11:15	遅れる理由が、何かGNSSとかそちら側の体制とかですね、そういうね影響があったりこの審査の進め方、
2:11:28	について何かそれが関係してるのであれば、そういうこともまた公開の場で説明、必要かもしれなくなりますので、
2:11:40	ちょっと今日、今日説明を見、見たスケジュールを見ると、
2:11:47	だ除熱綴じ込みとか、長期健全性がもともと昨年の11月の会合での説明では、
2:11:58	3月に、のところが線が引っ張ってあったんですけど、それが大体2ヶ月ぐらい遅れてるスケジュールになってます。
2:12:09	あと、8月の最終補正説明資料っていうのが、
2:12:16	昨年の審査会合の説明で5月、
2:12:20	の末にあったんですけどそれが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:23	だから、3ヶ月遅れてますんで、
2:12:28	だから
2:12:30	あれですね、米津、閉じ込め、長期健全性は2ヶ月遅れなんですけど、この最終説明資料っていうのは、
2:12:40	さらに1ヶ月おくらせてるんですけど、
2:12:43	そこらへんですねまずその除熱、閉じ込め、長期健全性の説明資料の作成っていうのは、
2:12:53	それ何で2ヶ月遅れるのかっていうのをちょっと説明をお願いしたいと思
2:13:09	いですね
2:13:11	他の。
2:13:12	その機能、機能とか他の説明で、
2:13:18	そちらの方で時間がかかってそれが終わらないから、そう。それに気づいた形で遅れてるのかそれとも検討は並行的に進められたんですけど、
2:13:32	何らかの要因があって、オカを2ヶ月遅れているのかですね。
2:13:38	他の理由もあるかもしれないんですけどそれについて教えてもらえますか。
2:13:42	はい。GNSJapanの三枝です。
2:13:45	3ヶ月遅れる理由。
2:13:49	その他の
2:13:50	ここの、
2:13:52	補足説明資料の審議、ヒアリング審議が審査、
2:13:58	遅れが遅れてるっていうのはもちろんあります。しかし、例えば、
2:14:03	地震とか、その遮へいとかその対応が、
2:14:07	1ヶ月以上かかるものにつきましては、
2:14:09	その前に、
2:14:12	並行して進めさせていただきたいと考えているのは、情熱閉じ込め、
2:14:17	長期健全性。
2:14:19	というものでそれについては、
2:14:25	待ってる間、地震とか、遮へいが、
2:14:29	準備できるまでの間はちょっと前倒し。
2:14:32	やらしてもらおうと。
2:14:34	だからそれが終わるまで待てないっていうのは全体的な理由としてはあるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:38	その地震とか遮へいが時間がかかり過ぎてるので、その間に空いた時間に、
2:14:45	除熱、閉じ込め、
2:14:47	長期健全性とか、やらしていただくと。
2:14:49	ということで、
2:14:52	よろしいでしょうか。それはいいんですけどそそうではなくて、昨年11月の時点では、この除熱、閉じ込めっていうのは、あと長期形成は3月のところから線引っ張ってあって、
2:15:07	他の
2:15:10	地震とかですね
2:15:12	遮へい臨界っていうのはこの線が変わってないんですよ2月のところから引っ張ったって、そちらの方は、
2:15:20	予定通りなんですけど、除熱と事故メディアの長期健全性っていうのは、2ヶ月で遅れてるんですよ。この線がですね。
2:15:31	それは、
2:15:33	だから他のやつで、手がかかってたので、それに引きずられて遅れたのかそれとも、
2:15:42	何か他の原因があって、2ヶ月遅れてるのかっていうのを教えてもらいたいんですけど。
2:15:48	GNSJapanサービススクエア。
2:15:52	冒頭、最初の方の理由です全体的前のものは、
2:15:57	遅れて進んでないので、それに、
2:16:00	伴って遅れているというだけで、その他の特別な理由があるわけありません。
2:16:06	わかりましたはい。それとあと先ほど言ったこの
2:16:10	もともとこの全部の説明が終わったらすぐ、最終補足説明資料の作成だったんですけど、これ1ヶ月、空白になってるじゃないですか。
2:16:23	これ、これは何か余裕を見てなんですか。
2:16:26	1000、
2:16:29	おっしゃる通りです。この
2:16:33	ヒアリングを受けて、
2:16:35	すぐにその最終説明資料がつくれるわけではないと思いますし、
2:16:40	審査コメントを受けて、
2:16:43	すぐにそういう最終資料できるとは考えられなかったもので、
2:16:48	確かにその1ヶ月の余裕は見ています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:52	はい、わかりました。それぞれお子さんヶ月遅れる理由ってのはわかったんですけど、園田他の審査に引きずられて、
2:17:02	補オクれてるってということについてなんですけど、この
2:17:08	ヒアリングでこういう対面でやってますけど、
2:17:14	それ、それで何か支障があって、
2:17:19	遅れてるとかそういうことはないですか。
2:17:21	これは要は個々のやりくりややり方について、それが原因で、遅れているようであれば、その改善をしないと、遅れ遅れってのがどんどんどんどん、
2:17:34	積み重なる可能性があるんで、
2:17:36	それについては、このやり方でいいのかどうかですね、それについてご意見があったら、
2:17:43	お願いします特に
2:17:45	GNSのうその本社とのやりとりとかってのはちょっと我々はわかんないので、ここのこのやり方でですね、
2:17:53	いいのかで、本社の方も、そういう環境が整ったら、ウェブで一緒にやるって話も出てたとも思いますので、
2:18:05	そこのちょっと進め方について、この遅れに影響してるのかっていうのをちょっと教えてもらいたいんですけど。
2:19:19	もし、
2:19:21	もしこの時間かかって理由というのが、
2:19:24	何かだから、今、こういう議論したことを、また本社にダーツ通訳とかを 通訳翻訳とかをして、
2:19:34	本社に伝えて、その、それまた返事が返ってきて、またそのほ翻訳とかして、我々に説明するとか、資料作るとかっていう、
2:19:46	プロセスがもしあるんであれば、もう、もしそちらに通訳がいるんだったら、もうリアルタイムで、本社の方も含めて、議論ができるよ。
2:19:57	と思うんですけどそういう話もあったと思うんですけど、まだそれがそういう環境通訳とかも含めて本社の方は、そういう体制はありませんでって いうことで今こういう形で進めてると思うんですよね。
2:20:10	で、別にそのうとこやりとりで時間かかってるってわけじゃなければ、このやり方でいいと思うんですけど。
2:20:17	そこでもそれほど、実態はどうなんですか。
2:22:00	今田ほかの他の新申請者との比較っていうのが時間かかっているって いうのも、言うて来るっていう話だと思うんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:08	それは別に本社とのいや、やりとりが関係してる、してないであれば、それはまた多分日プラスのちょっと必要なことだと思うんですけど。
2:22:21	いずれにしても今のやり方で、もしか改善した方がいいということがもし、あるのであれば、それは後、ご提案いただければ、
2:22:33	その対応ができるかっていうのはちょっとこちらの方で検討したいと思えますので、今今日は別に、答えていただかなくても結構ですので、
2:22:42	また次の時にでも、
2:22:44	この遅れている理由とそれを、もし改善できる提案があるんだったら、言っていたいただければと思います。
2:23:03	原燃輸送のコガでちょっと1点だけ
2:23:07	ちょっと以前ですね午前中から午後1か。
2:23:10	院長お願いしますという話があってもちょっとどうしてもヨーロッパとの時差で、4時とかに来てしまうのでもし向こうが参加するので、それも
2:23:18	一度ちょっとやめてくださいという話はあったんですけどちょっとそこも含めて提案させていただいてもいいということでしょうか。
2:23:37	では、現実のところですけどそれもフクマ可能かどうかは別としてそれも含めて、提案があればさせていただくということにします。
2:23:47	要はですねコウゲ結構申請からすごい時間かかってるんで、すごいみんな注目してるんですよそれぞれで遅れてる理由が何か審査の進め方とかにあるんだったら、
2:23:59	それは改善というのが必要になるので、そういうのは、なるべくその見える審査会合のときに、そういうのは、提案を受けて、
2:24:10	対応するとかっていうのが必要なので、
2:24:13	今回ちょっと3ヶ月遅れますって話があったんで、ちょっとこれ内部でご説明するとそういう理由とかですね、その改善策っていうのを説明する必要が出てきますので、
2:24:25	今のちょっと状況だよ、大体わかりますので、
2:24:30	今後まだずるずるずるずるちょっと延びることがないように、
2:24:35	ちょっと遅れてる理由等、もし改善が必要などころがあるんだったら、そういうご提案というのもいただきたいと思います。
2:24:47	はい、JNESファンド債務フェス。
2:24:50	遅れの理由と改善があれば提案するということを検討させていただきます。
2:24:59	規制庁松田です。では今日のヒアリングはこれで終了します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。